

広報 あのかわ

わたくしたちの町
人口 男女計 4,810人 5,246人 10,056人
9月中の転入 81人
転出 34人
世帯数 2,207世帯
(11月30日住民登録人口調)

ついに完成、北小学校

開校記念日に竣工式

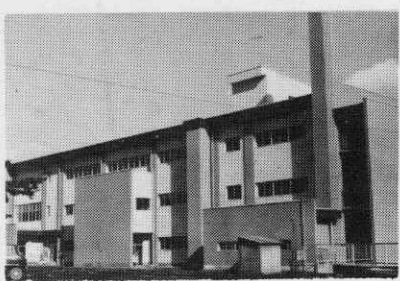
合川町立合川北小学校の全面改築工事は、十月三十一日に完成し、この学校の開校記念日に当る十一月七日、晴れの竣工式典を開催しました。

北小学校の旧校舎は、昭和八年十一月現在地に建築されて以来、増築、改築など手を加えられながら、三十有余年の歴史をもちつています。

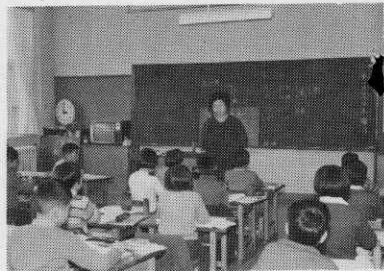
最近、老朽、狭あいなどが進み、危険校舎として管理上、憂慮されるような状態になっていましたので、国の補助事業としての見通しがついた三月、全面改築へふみ切ったものです。

事業費として、七、六二二万円を当初予算に計上し、秋田市、小畑勇設計事務所が工事実施計画と設計を依頼しました。

これは、普通教室七、理科室など特別教室四、職員室など、体育館を除く一切を含んだもので、衛生施設は、水洗式浄化装置を完備し、暖房施設は、重油ボイラーのスチーム暖房という近代的技術を採用しています。



近代的な校舎ついに竣工



広い教室で思いきり勉強

工事に着手しましたので、学校では、体育館を仕切り、臨時教室で勉強をしました。この間、学力の低下と事故を防止するため、関係者が一体となって努力されました。

工事は、管理監督に当たられた小畑勇設計事務所と工事施行者小林組の誠意と努力、地域住民の協力体制に本もいっばい明るい図書室



四月二十七日、四業者による指名競争入札の結果、合川町駅前、合資会社小林組(代表社員小林敬治氏)に、六、八〇〇万円で落札しました。

五月五日より、旧校舎の解体作業と同時に改築の本

こんどこそ死者ゼロを

交通安全協新体制で再発足

「阿仁の里、死亡事故ゼロでしあわせを」を、メインスローガンとして満三年の交通事故死者ゼロの快記録も去る十一月二十四日深夜隣村上小阿仁村堂川地内に発生した交通事故で死亡者が出たため破られてしまいました。

しかも、その事故を起こした運転者も死亡者もわが合川町の人間、そしてことあるうにその車に乗っていた六人全員が米内沢地区交通安全協会合川支部の最高幹部ばかりとは。

事故が表面化するや、責任を痛感した関係幹部は全

第二回臨時会

請負契約の承認など

五議案を原案可決

十一月十五日に開催された、町議会第二回臨時会は、合川町新田目、福田地区簡易水道施設建設工事の請負契約の承認など五議案を可決して閉会しました。

主な議案の内容は次のとおりです。

合川町新田目、福田地区簡易水道施設建設工事の請負契約の承認

総工費、一、二五〇万円の事業を、能代市三輪建設株式会社取締役社長三輪カツと契約するもので、契約の内容は、二ヶ年継続事業とし、昭和四十六年度は、二七三万二千元(配水管工事)、昭和四十七年度は、九七六万八千元(水源、送

員辞表を提出、残りの幹部たちのあいだで善後策が練られていたが、このはその辞表を受理し臨時総会を開いて再出発を話し合

米倉 甚逸(上杉)
支部長

小林 士郎(道城)
副支部長

浅野 忠(李 岱)
伊勢 盛市(八幡岱)

鈴木 計一(鎌 沢)
事務局長
杉瀬佐一郎(役 場)
庶務会計
成田清二郎()

これまでの予算総額に、歳入、歳出それぞれ二、四三五万一千円を追加し、総額を六九、七五四万四千円に補正したものです。

昭和三十九年度合川町一般会計予算の補正(第三号)

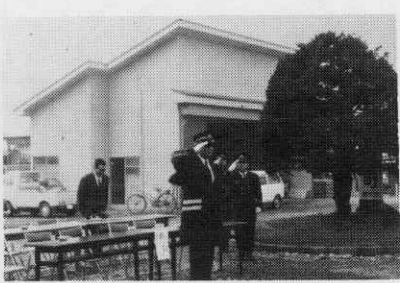
火災想定訓練 駅前が火事だ!!

十一月十三日午前九時五十分、合川駅前火災が発生しました。折りからの強風にあおられ、町中心街に延焼、大火となりました。



いであちもあざやかに 消火訓練

この想定により、鷹巣、阿仁部各町消防団と鷹巣合川地区消防署が合同して火災想定訓練を実施しました。



統監(合川町長)の観閲を受ける

この訓練は、合川町の防災計画にもとづいて、火災発生時の迅速、適確な行動適切な予防措置や応急対策をたてるために実施することになりまし

決議

阿仁部住民総ぐるみの悲願であった、交通死亡事故ゼロの記録も、当協会支部役員による交通事故によって断たれたことはまことに遺憾であり、われわれは社会的な責任を痛感するものである。

この機にあたり、われわれは交通安全運動が一日もゆるがせにできない事態である現状を再認識し、深い反省の中から今後に処する覚悟を新たにし、会員一体となって意識の向上を図り交通事故防止に対する連帯感を深め、もって交通安全市民運動の中核となり、死亡事故ゼロの記録づくりに再出発することを決議する。

昭和四十六年十二月八日

米内沢地区交通安全協会
全協会
合川支部臨時総会

年末年始の新生活運動

年末年始を迎えるにあたって、生活の健全化をはかるため、虚礼廃止、冗費節約などを強く呼びかけることになりまし

十一月の行事

- 家庭生活を反省し、新しい生活設計をたてましょう。
国旗を掲げ、新年を祝いましょう。
過度になりがちな忘年会、新年会はつつしみましょう。
おくりものなどの虚礼は廃止しましょう。
酒のみ運転など交通三悪を追放しましょう。
3日 合川中学校祭
5日 公立合川高校組合認可に伴う打合せ会
6日 職員ソフトボール大会
老人クラブ連合会幹部交流会
7日 北小学校工事完工式
9日 鷹巣・阿仁地区公衆衛生大会
10日 農業委員会
11、18日 秋季大掃除
11月17日 秋季防火週間
12日 会計監査
14日 東小学校文化祭
15日 臨時町議会
16日 定期監査(東・北小学校)
17日 定期監査(合川中学校)
18日 大森町議会議集落も転視察米町
定期監査(西・南小学校)
20日 カントリーエレベーター竣工式
24日 カントリー設計協議会
25日 交通安全会議
26日 飼料作物コンクール
29日 葉たばこ総代会

心身障害救護施設

ひばりが丘ホーム いよいよオープン

社会福祉法人、秋田県厚生協会が建設していた、重度心身障害者の救護施設、「大野台ひばりが丘ホーム」が、いよいよ十一月一日からオープンしました。



完成したひばりが丘ホーム

定員は五十人で、十八才以上の男女を対象として、特に終生保護を主体としているところが特徴となっています。

このホームは、生活保護法にもとづいて、精神上や身体上著しい欠かんのある自立不能者を取容して、保護、扶助をする施設です。

建物には、愛生園の真向いで、鉄骨、平屋建て、延べ七九九平方メートルとなっており全館スチーム暖房、水洗トイレの近代的な施設です。管理棟を真中に、左側が女子、右側が男子の宿舎で、居室はそれぞれ五人一部屋で、男女とも五室となっています。

管理棟には、事務室、相談室、医務室、休養室、食堂、調理室、浴場などがあります。

「大野台コロニーの夢がだんだんみのつてきました。更生施設と救護施設ができましたし、昭和四十八年には授産施設を誘致することにして、今後は社会復帰している人が、年寄りになるにつれてこれら精神者の老人施設をつくることに努力したいと思っております。町内のみなさんから、今後なお一層の理解と協力をお願いいたします。」

職員は、関源吉園長、山卯一郎園長補佐をはじめ、指導員、寮母五人、看護婦、調理人、嘱託員、事務員など計十二人のスタッフです。建設に要した総経費は四、六〇〇万円で、日本自動車振興会や県・町の負担金が財源となっています。



広い食堂で楽しい食事

児童手当制度

来年一月から発足

児童が心身ともにすこやかに成長することは、私たちすべての願いです。このための施策のひとつとして、児童手当法が生まれ来年一月から発足することになりました。

この制度は、国・県・市町村と事業主が費用をもちあい、児童を養育する人に児童手当を支給するものです。◇受けることのできる人◇

十八才未満の児童を三人以上養育しており、そのうちの一人以上が義務教育終了前(当初は五才未満)の児童であること。その人の前年の収入が、一定の額(扶養親族が五人の場合二百万円)に満たないこと。

◇児童手当の額は◇月額は、三人以上の児童のうち、出生順に数えて三人目以降で義務教育終了前(当初は五才未満)のもの一人につき三千円です。その他詳しいことは、役場福祉課におたずねください。

健康とくつ

○…暖房器具の恋しい季節になりました…
○…冬はたくはもうお済みですか…
○…より快適な冬を過ごすために、身のまわりを総点検してみましょう…

環境整備

① 空気乾燥しがち。ストーブにやかんをかけ室内に湿り気を与える。② しめつきの室内はガス中毒の危険がいっぱい。一時間に一回は窓を開け空気を入れかえをする。③ 脳卒中の大敵。すきま

寝具

① 軽くからだが圧迫しない合繊綿のかげぶとんを使う。② 敷きぶとんから逃げる熱は全体の三分の二。かけぶとんより敷きぶとんを厚くする。③ ソバカラ(またはパンヤ、もめん綿)の枕を使う。

食

① カロリーの多い暖まる食物としてナベ料理が最適。② 冬は野菜の摂取量が減る。貯蔵できるものは貯蔵しておく。③ 夏より脂肪分を徐々に増していく。④ 発育ざかりの子どもたちにはバター、卵黄、干し椎茸、いわし、にんじん、レバーなどビタミンDの多いものを与える。⑤ みかんに含まれるビタミンCをおおいに

その他

① 入浴により十分からだを暖めて床に入る。② 外出から帰ったら手洗い、うがいを励行する。③ 冬はどうしても室内にとじこもりがち。晴れた日は積極的に戸外運動をし、気分転換をはかる。④ 暖房器具による火傷(やけど)の機会も多くなる。おとなも子どもも十分注意する。

お知らせ

年末年始の役場の執務は次のようになります。
御用納め 二十八日
御用納め 新年四日
御用納め後から三十一日まで、印鑑証明、住民票などの受け付け発行は行いません。

寄付をいただきました。町の社会福祉事業の基金に繰り入れ、有効に役立たせることにいたしました。紙上を通じて厚くお礼申し上げます。

(社会福祉法人・合川町社会福祉協議会)
○米倉一郎(上杉)
父・米倉甚吉郎さんの香典返しにかえて二万円。
○藤岡勝蔵(羽立)
父・藤岡継蔵さんの香典返しにかえて一万円。
○福岡龍太郎(三里)
父・福岡武雄さんの香典返しにかえて五千元。

父・細田友一(李岱)
父・細田友三さんの香典返しにかえて五千元。
○鈴木福三郎(福田)
妻・鈴木サヨさんの香典返しにかえて一万円。

女性も十人

新しい民生委員が、十二月一日、厚生大臣より次のように任命されました。今回の改選は、二十六人で新人四人、再選二十二人とされており、女性委員が大幅にふえ九人となりました。

森岡初音(道城)、関源吉(上杉)、工藤彦之丞(上杉)、木村金一郎(下杉)、佐藤行雄(駅前)、吉田正一郎(川井)、佐藤冬造(川井)、村岡ハチエ(八幡岱)、新、山田博(木戸石)、佐藤ウメ子(木戸石)、新、沢藤勝治(美栄)、小笠原進一(増沢)、小笠原三四治(増沢)、鈴木清七(福田)、成田東蔵(李岱)、平川トミ(李岱)、松岡ヒデ(羽根山)、藤岡イクエ(羽立)、桜田彦三郎(東根田)、金田アキ(西根田)、土濃塚イマ(芹沢)、新、福岡正吾(三里)、金田雄一郎(摩当)、三浦タミ(三木田)、鈴木計一(鎌沢新、伊藤欣一(杉山田))

慶弔だより

十月一日
十一月三十日
おめでと、ご健康をお祈りいたします。



ありがとうございます

次の方々から、故人の香典返しに代りて尊い浄財の

善意のご寄付

父・藤岡継蔵さんの香典返しにかえて一万円。
父・福岡龍太郎(三里)
父・福岡武雄さんの香典返しにかえて五千元。
○細田友一(李岱)
父・細田友三さんの香典返しにかえて五千元。
○鈴木福三郎(福田)
妻・鈴木サヨさんの香典返しにかえて一万円。

中島・佐藤さんが

去る十月二十六日県産業会館において、第十八回秋田県統計大会が開催されました。

これは、日頃第一線において統計調査に直接従事している統計調査員の労を感

謝し県民に対する統計思想の高揚を図るための目的としたものです。この席上で統計を長年にわたって従事した本町の中山清一(新田目)さんと佐藤太一郎(川井)さんに県より感謝状が送られました。二人に対し「苦勞様と感謝しながら、これからもますます活躍下さるようお願いいたします。」